



大学生コーチ新良君(右奥)が受け持つのは幼稚園・1年生チーム。昨年まで育てて来た6年生チームが今年中学に入学し、新しく1年生チームを受け持つことになった。「技術や戦術、体力というレベルではないので、ボールを追う楽しさを教えている」

俺たちはここで育った 少年サッカークラブ「フロインツ」

この夏、打瀬小などベイタウンの3小学校校庭を拠点にする少年サッカークラブ「フロインツ」が熱い。6/28に成田中台サッカー競技場で行われた千葉県サッカー選手権大会小学校4年生の部で堂々準優勝。ついに関東大会にまで出場する。長いフロインツの歴史の中でも初めての快挙だ。

フロインツを指導するコーチはボランティアの大人が中心だが、実はコーチ陣の中には打瀬中学校を卒業した3人の大学生コーチがいる。今回関東大会に出場を決めた4年生チームもその中のひとり北野康君が指導するチームだ。

今回は関東大会出場で注目される少年サッカークラブ「フロインツ」と、かつては自分たちも所属したクラブで今は毎週末コーチを続ける3人の大学生、新良圭亮君、木村悠貴君、北野康君取材した。



木村君が教える6年生チームの3人(写真左から下山君、安田君、藤田君)。「木村コーチは基礎練習が多いのでつまらないこともあるが、代表の鈴木コーチに比べるとずっとやさしい」



新良君と子ども達。昨年まで見ていた6年生に比べると幼稚園・1年生は小さいのでとまどう



写真左：幼稚園・1年生チームのシュート練習。球出しをするのが新良君



木村君と6年生たち。「もっと顔を上げて」とか、「やる気のない奴は帰っていいよ」とか、ときには厳しいコーチとの評判



大人になったサッカー少年

フロインツはベイトウンで最も古くから続く少年サッカークラブだ。打瀬小学校が開校したときから校庭でサッカー教室を開催し、ベイトウンでの歴史は街の歴史と同じということになる。

「フロインツ」とはドイツ語の「友達」(フロイント)から付けられた名前。その名の通り、今回取材に応じてくれた北野君、新良君、木村君の3人も打瀬中学時代からのサッカーを通じた友人だ。北野君と新良君は同い年で小学校時代からフロインツと一緒にボールを追って来た。木村君は2人とは1才年下、つまり後輩という関係だ。

3人がフロインツのコーチを引き受けた時期はそれぞれ違う。最も古い北野君の場合は、中学を卒業し高校に入った頃から、小学生時代に教えを受けたフロインツ代表の鈴木コーチに声をかけられてコーチを引き受けた。新良君の場合は高校時代を通じてサッカーを続けたが、高校3年になり部活動でのサッカーから離れてコーチをすることになった。木村君は高校2年のとき。時期は違うが3人とも小学校時代から続けてきたサッカーで何か活動できる場をと思ったことがきっかけだった。

3人ともやがてプレーする楽しみから子どもたちをサッカーを通じて育てると面白

さに目覚めることになる。フロインツの場合、一人のコーチは年度が変わっても同じチームを指導する。長い場合は1年生でサッカーを始めた子が6年間同じコーチの指導を受けるということもある。まだ幼稚園を出たばかりの子ども達と長く一緒に過ごすことは、今まで教えられることに慣れていた彼らに新しい世界を見せてくれたようだ。自分の指導ひとつで伸びる子もいれば、うまく熱意が伝わらない子もいる。

現在1年生のチームを見ている新良君は昨年までは6年生のチームを指導していた。何年もかけて育てた子ども達が大きく成長し、また今は身体の小さい1年生をゼロから育てることに期待と不安を感じる。

一方、木村君が指導するのは現在6年生のチームだ。長く育てて来た彼らとも今年で別れることになる。

東関東大会出場を決めた4年生チームを指導したのは北野君。彼もこのチームを1年生のときから指導してきた。チームづくりにはコーチの性格も当然出る。北

野君は指導する中で自分の積極的でアグレッシブな性格に気付いたようだ。そのチームが関東大会出場という大きな結果を出したことは、彼に大きな自信を与えただろう。

3人は現在大学の4年生。来年4月には社会に出て自分で自分の道を切り開くことになる。会社勤めをしながらサッカーのコーチを続けられるか、3人にとっては大きな問題だ。3人がそのままベイトウンで休日に子ども達のコーチを続けているかどうかは分からない。だが、どこでどんな仕事をしていても、コーチを続けることで得られたことは3人が社会に出たとき必ず役立つことになるだろう。話をしてそんな頼もしさが感じられた。



練習スケジュールを打ち合わせる大学生コーチ3人。
写真左から新良君、木村君、北野君。

新都心の新しい起爆剤となるか MIS (幕張インターナショナルスクール)

今年4月13日、幕張新都心文教地区にインターナショナルスクールが開校した。

インターナショナルスクールは元々、ベイトウンの住宅地域内に設立される計画だったことをご存知だろうか？

最初の予定地は、今は美浜打瀬小学校、その後は9・10・12番街に面した打瀬1丁目公園前の空き地(H7街区)に変わり、同街区が中学校予定地になった時点でインターの話は立ち消えになったのかと思われたが、結局現在の場所での開校となった。

実は今から遡ること15年まえの1994年、私が街開き前のベイトウンへの入居を検討した最大の理由は、このインターナショナルスクールだった。

入居時点ではインターナショナルスクールは、街のランドデザイン模型の中にあっただけで、実際の開校は予定すらたっていないかったが、いくら何でも当時まだ幼稚園入園前であった娘が小学校に入る頃には開校されるものと思っていた。

しかし、その娘も今はもう高校2年生。わが家にとっては今回の開校は10年遅いといったところだ。

ベイトウンの街づくりコンセプトのひとつにあげられていた国際化は、広大な空き地が広がる業務地域への外資系企業誘致ともリンクしていた。千葉県としても、外資系企業誘致にはインターナショナルスクールが必要だという認識は持っていたが、実際に誘致でき

た外資企業数が少なく、生徒数が見込めないため、学校を誘致できないというジレンマに陥ってしまった。

「幕張インターナショナルスクール(以下“MIS”)」は、それまで学校の運営主体を民間企業の誘致によって行おうとして失敗した経験から、当時の県知事が会長となる「幕張インターナショナルスクール設立推進協議会」を設置し、千葉県や千葉市、民間企業などの出資を受け、さらに小泉政権時代に学習指導要領を柔軟に運用できる構造改革特区の認定をとり、インターナショナルスクールとして日本で初めて学校教育法上の正規の学校(一条校)となった。

今のところ幼稚園と小学校しか予定されていないにもかかわらず、生徒の転校や進学時の選択が広がったためか大人気となり、170名の児童が浦安から佐倉までの4つのスクールバスルート等を利用して通ってきている。中には沖縄や北海道から転居してきた家庭もあるということが話題になったりした。

MISは、日本語以外の学科を英語で学ぶ少人数制が特徴で、3年間の幼稚園が6クラス75名、95名の小学校は1年生が2クラス、2年から4年までが1クラスの編成で、5、6年生のクラスはこれからとなっている。

学期は3学期制で遠足や修学旅行、通知表などもある。20か国の生徒中、約6割が日本人だ。

校舎は打瀬小学校、美浜打瀬小学校を手が

けたシーラカンスの設計である。ベイトウン住民にはおなじみだろう。木造平屋構造の基本的には中庭型で、シーラカンスが手がけた建物だけに空間の使い方が絶妙で一見の価値がある。

かつてベイトウンは建物や街並みだけでなく、打瀬小中学校の特色ある建物や教育が話題になり「幕張ベイトウン」の名前も全国に広まった経緯がある。MISの設立効果とされる、「外国人の居住環境及び海外帰国日本人児童の教育環境整備により、幕張新都心、ひいては千葉県の国際都市としての魅力が増し、知名度が向上する」という目的が達成され、幕張新都心がさらに多様化、活性化することを願っている。

実際に子どもをMISに通わせている父兄と話したが、夏休みまでの1学期は、4月に発足したばかりの学校も、そこに通わせ始めた父母の方も手探りの状態であったという。

予期せぬ初めての事態に精一杯対応した学校側に対して、おおらかに見てくれる父兄と、「そんなこともできないのか」という父兄に分かれていたというから日本らしい。

現在子どもをMISに通わせている父兄なら当然気になる中学や高校への進学の問題も、今後学校側がどのように解決していくのか興味あるところだ。

現在、MISには学校拡張の為の敷地が十分確保されている。たとえば今は小学校までの過程をさらに上の中高を併設するなど積極的な発展ができないか期待して見ている。(つづく) 【金】

こども和菓子づくり教室

ヘルシーな「おやき」づくりにチャレンジ

小学生の皆さん、公民館でヘルシーな「おやき」づくりにチャレンジしよう！

- いつ：9月12日（土曜日）
- どこで：打瀬公民館 調理室
- だれが：小学生の皆さん 15人を募集します
- 何を学ぶの：「おやき」をつくりながら、調理の基礎・基本を学習します
- 持ってくる物：エプロン・三角巾（スカーフ・バンダナでもよい）ふきん1枚・手ふきのタオル・うわばき
材料費100円（きたとき、公民館の人に渡してください）
- 講師：ボランティアによる指導
- 申込み：往復ハガキに住所・氏名・学校名・学年・電話番号を記入して打瀬2-13 打瀬公民館「こども和菓子づくり係」

9月8日（消印有効）まで（応募多数の場合抽選）

主催・問合せ 打瀬公民館
電話：296-5100

こどもをぐんぐん伸ばす法

打瀬中学校区青少年育成委員会より
下記日程で「子どもをぐんぐん伸ばす法」池上正氏 による講演会を開催します。池上氏はサッカーを通し子どもと30年以上にわたり子どもと向き合ってきました。その経験よりサッカー以外においてもさまざまな子どもと向き合うヒントが満載です。入場無料です。振ってご参加ください。

日時：9月19日（土）10時～12時（9：45開場）

場所：ベイトウン・コア ホール

合唱を楽しみませんか

コアチェンバーシンガーズがメンバー募集

ベイトウン・コアを拠点に活動する混声合唱団コア・チェンバーシンガーズ（通称コアチェン）がメンバーを募集しています。この7月に第5回の定期演奏会を行ったコアチェンは、創立7年になるベイトウンの混声合唱団

です。現在のメンバーは約40人。男女半々という構成です。

次回演奏会（2011年秋予定）では高田三郎「心の四季」を歌います。一緒にうたってみませんか。合唱や音楽の経験は問いません。

合唱は一生楽しめ、心を豊かにしてくれる趣味です。仲間と一緒に曲を創り上げたときの達成感は何とも言えません。練習日は毎月第2、第4土曜日の午後6：30から、ベイトウン・コア音楽ホールで練習しています。見学随時歓迎。お子様連れでの練習参加もOKです。みなさまの参加をお待ちしています（次回練習は9/12 6：30からです）。
会費：毎月1000円（楽譜代他は実費）
連絡先：043-211-6853（松村）



9月のコア・イベント

9/19

(土)

わくわくおはなし会 9月の常設おはなし会

時間：10：30～

場所：ベイトウン・コア 講習室（途中入場もできます）

絵本好きの皆さん！

今月も おもしろくて、わくわくする おはなし、ゲームを用意してお待ちしています。ぜひ来てね！年齢制限はありません。

子ども達だけでなく、大人の方にも楽しんでいただける《おはなし会》です。

予約は不要です。

** 読み手も募集中、見学歓迎 **

連絡先：井上（211-0188 wak2@yahoogroups.jp）

9/26

(土)

寺子屋工作ランド「ぶんぶんごま」

時間：9：30～11：30

場所：ベイトウン・コア 工芸室

持ってくるもの：はさみ、鉛筆、クレヨン、色紙
参加費：50円（保険料）

9/27

(日)

第77回ファツィオリの会

時間：9：30～11：30

場所：ベイトウン・コア 音楽ホール

今回は将来が期待される若手ピアニスト實川 風（じつかわ かおる）君が後半10：30頃から演奏してくれます。

千葉県旭市出身、第56回全日本学生音楽コンクール中学生の部第1位、2007年ピティナピアノコンクール特級銅賞、第4回名古屋国際音楽コンクール第1位、第77回日本音楽コンクール第3位。現在芸大在学です。是非お誘い合わせて聴きにいらして下さい！！

前半の1時間（9：30～10：30）通常どおり、皆様からの演奏希望を受け付けます。一杯になり次第締め切らせて頂きますので、早めにお申し込みください。

申込締切：9月20日

連絡先：高井 Tel/Fax：211-0039

ベイトウン音楽通の穴場 ファツィオリの会

今月のファツィオリの会には千葉県出身の若手有望ピアニスト實川 風君が登場する。今回のコンサートはファツィオリのあるコア音楽ホールで一度リサイタルを開きたいという實川君からの申し出があり、その下調べとして実現したものだ。

実はファツィオリの会にはこれまでも多くの著名な演奏家が「お忍び」で登場している。高木竜馬氏、中村天平氏、松本和子氏などはホールへの出演の下調べとして毎月開かれるファツィオリの会に特別出演しピアノの感触を確かめたり、ホールの響きを確認したりしているのだ。

この「お忍び」リサイタルは演奏家にとっては下調べになるが、こちらにとってはまだ評価の定まっていない演奏家を見ることにもなる。不遜かもしれないが「オーディション」的な役割を果たしていると言える。

本来ならオーディションなど必要のない演奏家のくつろいだ演奏が生で、しかも無料でゆったり聴けるファツィオリの会。9月の会は9/27（日）9：30から。街のピアノを習う子ども達の演奏のあと、10：30頃より實川風君が1時間程度演奏する。

入場はもちろん無料。

プログラム（オールショパン）

ショパン：ピアノソナタ第二番「葬送」変ロ短調 op.35 より第一楽章

ショパン：マズルカ op.33-1 嬰ト短調

マズルカ op.33-3 ニ長調

ショパン：ノクターン第16番 op.55-2 変ホ長調

ショパン：アンダンテスピアナートと華麗なる大ポロネーズ op.22 変ホ長調



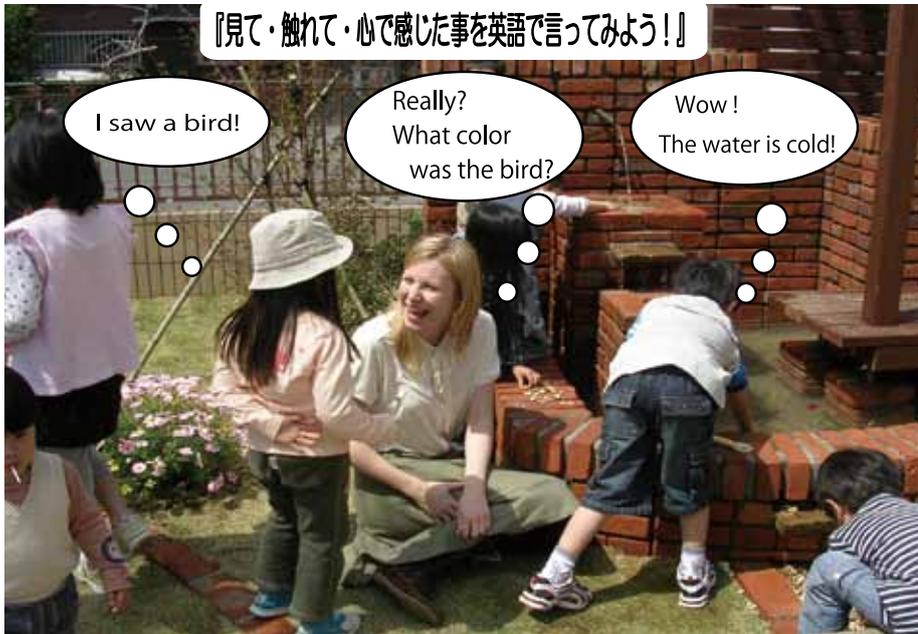
神田外語大学附属の児童英語教室 神田外語キッズクラブ



フリーダイヤル 0120-154-815

<http://www.kidsclub.co.jp>

『見て・触れて・心で感じた事を英語で言ってみよう!』



神田外語大学教室では、大学の児童英語教育研究センターと直結しています。研究の成果がいち早く反映されるクラスです。キャンパス全体が教室ですので、お庭に出て体感したことを英語で表現するなど、生きた英語が学べます。

☆体験レッスン☆

9月15日(火)~30日(水)

*時間帯はお問合せ下さい。

対象: 0歳~12歳

日本人講師コース

または

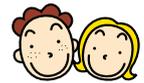
Team Teachingコース

*日本人とネイティブがペアで
レッスンを担当します。

秋の入会キャンペーン

入会金無料 / 教材費割引

神田外語大学内の
教室です。



KIDS' CLUB

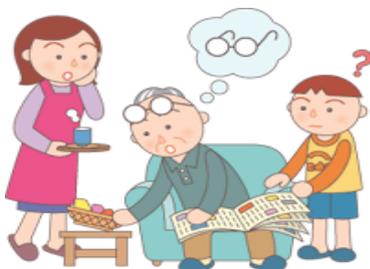
あなたのために、あなたの大切な人のために！

千葉市社会福祉協議会打瀬地区部会・広報委員会
☆私たちの街・幕張ベイタウンは、非常に若いまちです。ちなみに平均年齢は、千葉市の42歳に比べて32歳と10歳も若い。しかし、街開きしてから14年目を迎え、今では70歳を超える高齢者が約800人と、高齢化が進みつつあります。

☆現在、日本にはおおよそ200万人、85歳以上の4人に1人の割合で認知症のお年寄りがいるといわれています。認知症はいまや特別の病気ではありません。個人や社会が、この問題とどう向き合っていくかは、高齢化社会先進国の日本にとって大きなテーマです。
☆9月21日は、「敬老の日」と「世界アルツハイマーデー」です。この街のみなさんが認知症に対する理解を深め、認知症患者とその家族に街ぐるみでどのように係わりあい、支えていくかを一緒に考えましょう。そして、この街が高齢者にとって安心で暮らしやすい街になることを願っています。

私はすべてを失ったわけではありません。まだまだ若いものに負けないこともたくさんあります、あると思います。若いころと同じようにできないでしょう。あせらないで、じっと見ていてください。見ていて少しだけ手を貸してください。

—お年寄りからのお願い—



「夏休みお絵描きコンテスト」結果発表

7月号で案内したベイタウンニュースとホテル ザ・マンハッタン共催の「夏休みお絵描きコンテスト」が終了しました。

このコンテストはマンハッタンの開業15周年を記念して2006年にスタートし今年で第4回を迎えました。毎回豪華な賞が用意されることもあり沢山の方から応募がありますが、今年は応募総数は102点を数え、優秀作品ぞろいに審査員も苦慮したとか。

最優秀のマンハッタン賞には小学生の部、中学生の部ともそれぞれ1年生が選ばれました。

審査結果は下記の通りです。また賞を受けた作品は9月のコア・ギャラリーに展示されます。

マンハッタン賞(プラザスイートルーム1泊朝食付ペア宿泊券):
江藤 玄貴さん(小学校1年生)「とべ! マンハッタン」
清水 桜花さん(中学校1年生)「水墨画のマンハッタン」



写真は江藤玄貴さん(小学校1年生)の「とべ! マンハッタン」